

【】 地形・気候

[重要な地形]

[解答 1]① ヒマラヤ ② 長江

[解説]

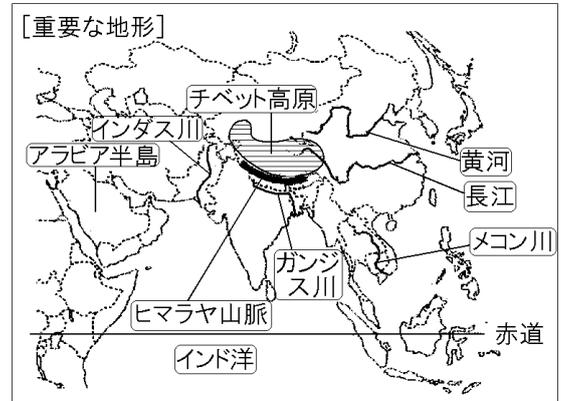
アジアの中央部には、8000mをこえる山々が連なるヒマラヤ山脈(エベレスト山は世界最高峰)やチベット高原があり、「世界の屋根」ともいわれている。それらの山地から、東には長江、黄河、西にはインダス川、南にはメコン川などの大きな川が流れ出ている。

※出題頻度:「ヒマラヤ山脈◎」「チベット高原○」

「長江◎」「黄河◎」「メコン川○」「インダス川○」

「ガンジス川○」「インド洋○」「アラビア半島○」

(頻度記号: ◎(特に出題頻度が高い), ○(出題頻度が高い), △(ときどき出題される))



[解答 2]A ヒマラヤ山脈 B チベット高原 C 長江 D 黄河 E メコン川 F ガンジス川
G インダス川 H アラビア半島 I インド洋

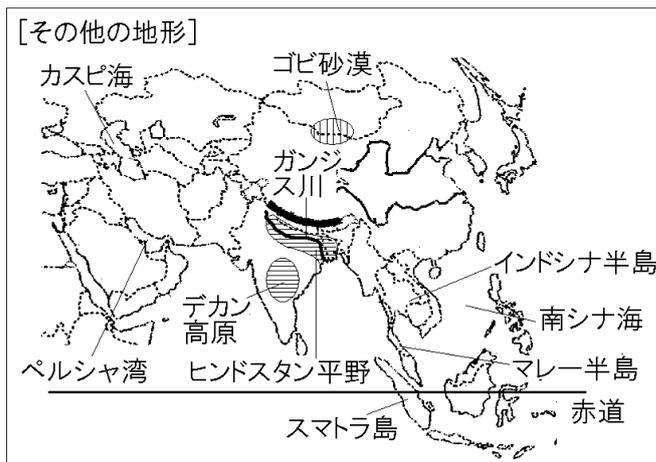
[その他の地形]

[解答 3](1) ウ (2)A インドシナ半島 B デカン高原 C ペルシャ湾 D ガンジス川

E ヒンドスタン平野 F ヒマラヤ山脈 (3) エベレスト山 (4) 世界の屋根

(5) ユーラシア大陸

[解説]



[解答 4]A 黄河 B 長江 C メコン川 D 南シナ海 E スマトラ島 F マレー半島
 G インドシナ半島 H デカン高原 I ヒマラヤ山脈 J チベット高原 K ゴビ砂漠
 L インダス川 M ペルシャ湾 N アラビア半島 O カスピ海 P 赤道

[季節風(モンスーン)]

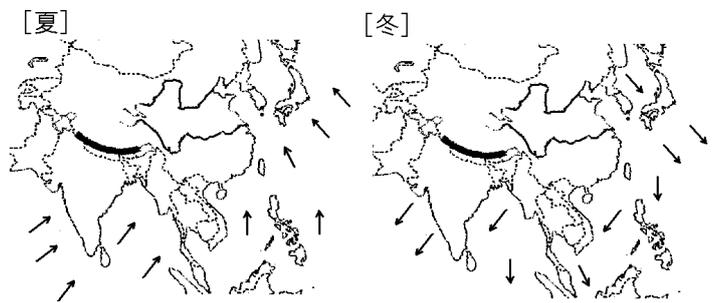
[解答 5]季節風(モンスーン)

[解説]

アジアの東部と南部では、右下の図のように、半年ごとに風向きが逆になり、夏は海から陸方向へ、冬は陸から海方向へ風が吹く。この風をモンスーン(季節風)という。

[モンスーン(季節風)]
 夏:海から湿った風 → 雨季
 冬:大陸から乾いた風 → 乾季

インドシナ半島やインド半島では、夏は海からの湿った季節風が吹くため雨量が多い(雨季)。冬は、大陸から乾燥した季節風が吹くため雨量が少ない(乾季)。一方、大陸内部から西アジアにかけては、太平洋やインド洋からの風の影響が及ばないため乾燥帯になっている。



※出題頻度:「モンスーン(季節風)◎」「夏と冬の風向き○」「雨季△」「乾季△」

[解答 6](1) モンスーン (2) イ (3) オ

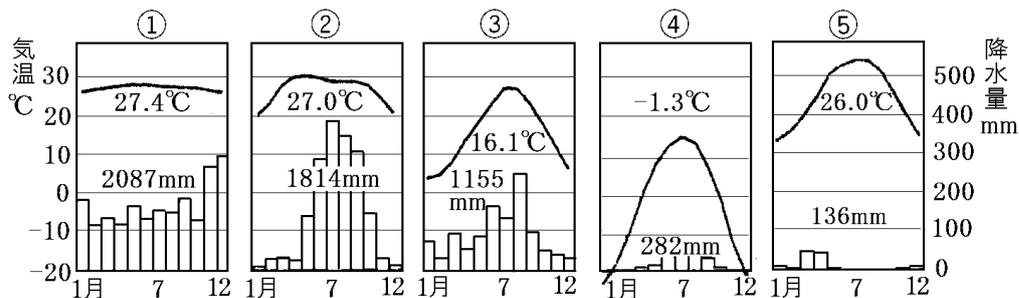
[解答 7](1) 季節風(モンスーン) (2) 7月 (3)① 雨季 ② 海からの湿った風が雨を降らせるから。

[解答 8]① 東部 ② 季節 ③ モンスーン ④ 南 ⑤ 湿った ⑥ 雨 ⑦ 北
 ⑧ 乾燥した ⑨ 乾

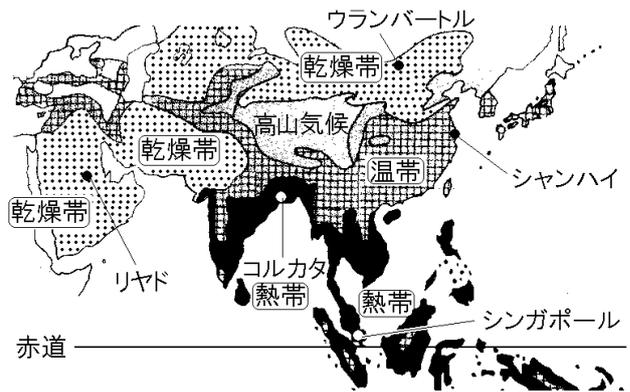
[雨温図]

[解答 9]リヤド:イ シンガポール:ウ

[解説]



上の①～⑤の雨温図が何という気候帯のものかを判断し、次に、それぞれ右の地図中の5つのどの都市のものかについて考えてみる。まず、降水量が非常に少ない乾燥帯の雨温図がないかどうか調べる。雨温図のうち、④と⑤は降水量が非常に少ないことから、乾燥帯のものだと判断できる。右の分布図から、乾燥帯に属するのはリヤ



ドとウランバートルの2つである。ウランバートルはリヤドより高緯度にあるので、気温が低い。したがって、④がウランバートル、⑤がリヤドの雨温図と判断できる。残りの①～③は、コルカタ(熱帯)、シンガポール(熱帯)、シャンハイ(温帯)のいずれかなので、熱帯か温帯である。このうち①と②は平均気温が20℃台なので熱帯であると判断できる。赤道直下にあるシンガポールは、年中雨の多い熱帯雨林気候なので、雨温図は①であるとわかる。赤道からはなれたコルカタは、雨季と乾季のある熱帯のサバナ気候なので、雨温図は②であると判断できる。

温帯にあるシャンハイの雨温図は、平均気温が10℃台である③である。

※出題頻度：この単元はしばしば出題される。

[解答 10] X：イ、熱帯 Y：ア、乾燥帯 Z：ウ、温帯

[解説]

アはカラチで乾燥帯、イはシンガポールで熱帯、ウはシャンハイで温帯である。雨温図のXは熱帯(熱帯雨林気候)、Yは乾燥帯、Zは温帯である。

【】 国名・地域区分

[国名]

[解答 11](1)A 韓国(大韓民国) B 北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)

C 中国(中華人民共和国) D モンゴル E フィリピン F ベトナム G マレーシア

H インドネシア I シンガポール J タイ K インド L イラン M イラク

N サウジアラビア O アラブ首長国連邦 (2)A ソウル C ペキン K デリー

※出題頻度：「中華人民共和国○」「モンゴル○」「大韓民国○」「インド○」「タイ○」

「フィリピン○」「サウジアラビア○」

[地域名]

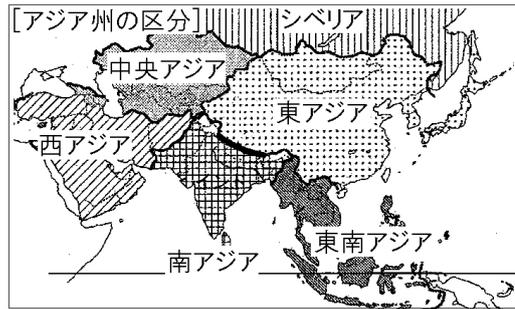
[解答 12]A 東アジア B 東南アジア C 南アジア D 西アジア E 中央アジア

F シベリア

[解説]

アジア州は、東アジア、東南アジア、南アジア、西アジア、中央アジア、シベリアに区分される。中央アジアに属する国としては、カザフスタン、ウズベキスタンなどがある。

※出題頻度：この単元はよく出題される。



[解答 13]A 南アジア B 中央アジア C 西アジア D 東アジア E 東南アジア

F 西アジア G 東アジア H 東南アジア

[解答 14]① 東南アジア ② 中央アジア ③ 西アジア ④ 南アジア ⑤ 東アジア

【】 人口・宗教

[世界の 6 割をしめる人口]

[解答 15]6

[解説]

アジアは人口が多く、世界人口(約 80 億人)の約 6 割の 47 億人が住んでいる(2022 年)。アジアは他の地域と比較すると、人口密度が高いところが多いという特徴がある。(統計修正)「日本国勢図会 2023/2024」 P15

※出題頻度：「6 割○」「47 億人○」

[アジアの人口]

世界の人口は 約80億人
アジアはその 6割の 47億人
人口密度が高い

[解答 16]① 47 億人 ② 6 ③ 高い

[宗教の分布]

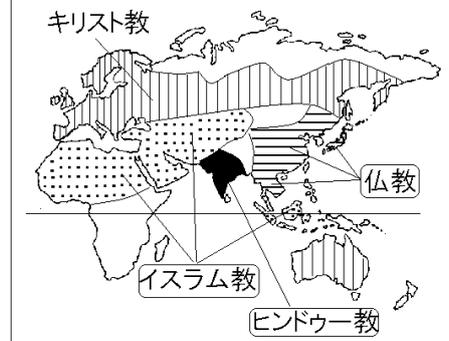
[解答 17]① 仏 ② ヒンドゥー ③ イスラム ④ キリスト

[解説]

仏教は紀元前6世紀ごろのインドでシャカが始め、その後、中国や東南アジア(タイ、ミャンマーなど)に伝わった。しかし、インドでは仏教はおとろえ、ヒンドゥー教が中心となっている。

イスラム教は7世紀にムハンマドが始めた宗教で、西アジアから北アフリカにかけて広がった。さらに、イスラム商人によって東南アジアの一部(インドネシア、マレーシアなど)に伝えられた。

[アジアの宗教の分布]



地理上の発見と宗教改革の後、スペインとポルトガルはアジアへも進出し、宣教師がキリスト教を伝え、とくに、フィリピンで勢力をのばした。

※出題頻度：「イスラム教(西アジア・中央アジア・インドネシア)○」「ヒンドゥー教(インド)○」「仏教(タイ)○」「キリスト教(フィリピン)○」

[解答 18]A キリスト教 B 仏教 C ヒンドゥー教 D イスラム教

[解説]

A のフィリピンではキリスト教が、B のタイでは仏教が、C のインドではヒンドゥー教が、D のサウジアラビアではイスラム教が信仰されている。

【】 東アジア(中国など)

【】 人口・民族

[一人っ子政策]

[解答 19]一人っ子

[解説]

1949 年の建国時に 5 億人台であった中国の人口は、増加を続け、1970 年には 8 億人を越え、2022 年現在の人口は 14.3 億人 になった。人口増加は食料不足をもたらすおそれがあったので、中国政府は人口増加を抑えるために、1970 年代末から 1 夫婦に子どもは 1 人という 一人っ子政策 を始めた。この政策は一定の効果をあげ、人口増加率は低下 してきている。しかし、その結果として、少子高齢化が急速に進んだ ため、この政策は 2016 年に見直され、二人まで子どもをもつことが認められるようになった。

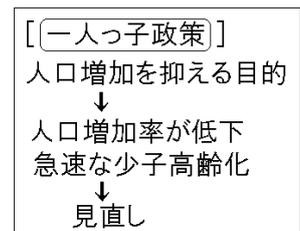
(統計出典)「日本国勢図会 2023/2024」P16

※出題頻度：「一人っ子政策◎」「人口増加を抑えるため△」「少子高齢化が急速に進んだ△」

[解答 20](1) 一人っ子政策 (2) 人口の増加をおさえるため。 (3) 少子高齢化

[解答 21]少子高齢化が急速に進んだため。

[解答 22]15 歳から 64 歳までの人口が減少することが予測されるので、労働力が不足することが考えられる。



[漢族・少数民族]

[解答 23]① 漢(漢民) ② 華人

[解説]

中国では人口の約9割をしめる漢族(漢民族)のほかに、55の少数民族がくらしている。少数民族は主に中国の西部で生活している。東南アジアなどの各地に移り住み、商業や金融業を営み、現地の国籍をとって定着した中国系の人々を華人という。

※「漢族(漢民族)・少数民族」の語句が出てこない教科書もある。

※出題頻度：「漢族(漢民族)○」「少数民族△」「華人○」

[中国]
(漢族): 人口の約9割
少数民族: 西部で生活
華人

[解答 24](1) 漢族(漢民族) (2) 少数民族 (3) 西部 (4) 華人

【】 農業

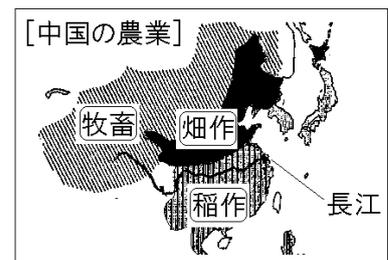
[中国の農業区分]

[解答 25] 稲

[解説]

中国の農業は大きく3つに区分される。長江流域の華中やチュー川流域の河南など、温暖で降水量の多い地域では稲作や茶の栽培がさかんである。華南のチュー川流域では、暖かい気候を利用して米の二期作が行われている。降水量が少ない黄河流域の華北や東北地方では、小麦、大豆、とうもろこしなどの畑作が中心である。乾燥した西部では羊などを飼う牧畜(遊牧)が行われている。

※出題頻度：「南部で稲作○」「北部で畑作(小麦や大豆)○」「西部で牧畜(遊牧)○」



[解答 26] A イ B ア C ウ

[解答 27](1) 米 (2) 二期作 (3) 小麦, 大豆(とうもろこし) (4) 遊牧

[解答 28] 東北区・華北では降水量が少ないので畑作が、華中・華南では降水量が多いので稲作が行われている。

[米・小麦などの生産統計]

[解答 29](1) A (2) 人口が多いため米の消費量も多いから。

[解説]

中国は、小麦や米の生産量が世界1位であるが、人口が多いため、生産量された小麦や米は国内で消費され、さらに、不足分は輸入にたよっている。

米、小麦ともに生産量が1位は中国で2位はインドである。Aは3位以下にアジアの国が並んでいるので米の生産を表していると判断できる。

次のように、米・小麦・茶の生産高は、1位が中国で2位はインドである。綿花は1位がインドで、2位が中国である。

米(2021年) : 中国(27.0%), インド(24.8%), バングラデシュ(7.2%), インドネシア(6.9%), ベトナム(5.6%), タイ(4.3%)

小麦(2021年): 中国(17.8%), インド(14.2%), ロシア(9.9%), アメリカ(5.8%), フランス(4.7%)

茶(2021年) : 中国(48.8%), インド(19.4%), ケニア(8.3%)

綿花(2020年) : インド(25.3%), 中国(24.4%), アメリカ(13.1%), ブラジル(11.4%)

(統計修正)「日本国勢図会 2023/2024」P143, 146, 158, 240

※出題頻度:「中国は人口が多いため、生産量された小麦や米は国内で消費される△」

「生産高順位→農産物名(米・小麦・茶・綿花)△」

[解答 30]A 小麦 B 茶 C 綿花 D 米

[解説]

米・小麦・茶・綿花の生産1, 2は中国とインドである。3位以下の生産国名から何の農産品か判断する。

D: 3位以下はアジアの国々なので米と判断できる。

A: 3位以下は、ロシア・アメリカ・カナダなので小麦と判断できる。

B: 3位がケニアなので茶と判断できる。

【】工業・経済

[中国の経済成長]

[解答 31]経済特

[解説]

それまでの計画経済に行きつまった中国は、1980年代になると、外国企業を招いてその資金や技術を導入して工業の発展をはかるため、シェンチェンやアモイなどを経済特区に指定した。日本やアメリカの企業にとって、安くて豊富な労働力が手にはいる

[経済特区]

外国企業を招いてその資金や技術を導入

沿岸部(シェンチェンやアモイ)

安くて豊富な労働力→外国企業の進出

工業化→世界の工場

中国へ進出する利益が大きかったので、あいついで進出を行った。経済特区に指定された地区はいずれも沿岸部である。これは、沿岸部のほうが、船での輸出や輸入に便利だからである(陸上輸送の費用は海上輸送費用よりはるかに高い)。その後、沿岸部を中心に工業化、経済成長が急速に進み、中国の工業製品は世界中に輸出されるようになり、中国は「世界の工場」と呼ばれるようになった。



※出題頻度：「外国企業を招いてその資金や技術を導入○」「経済特区◎」「沿岸部○」
「安くて豊富な労働力があつたから○」「世界の工場◎」

[解答 32](1) 経済特区 (2) 資本と技術 (3) 工場

[解答 33](1) 経済特区 (2) C (3) 外国企業を招いてその資金や技術を導入するため。
(4) 安くて豊富な労働力が手にはいるから。 (5) 世界の工場 (6) 東南アジアの国々のほうが中国より賃金が安いから。

[沿岸部と内陸部の経済格差]

[解答 34]① 沿岸部 ② 内陸部

[解説]

外資導入などの改革開放政策により、1990年代から、中国は高い経済成長を続け、「世界の工場」と呼ばれるまでになった。しかし、経済成長の中心は沿岸部の都市で、内陸部、とくに農村は貧しいままになっている。沿岸部都市と内陸部農村部の経済格差が大きくなっている。内陸部の農村と沿岸部の都市では所得の格差があるため、農村から都市へ高い収入を求めて出かせぎへ行く人(農民工)が増えている。

[沿岸部と内陸部の経済格差]

沿岸部が経済発展

沿岸部と内陸部の格差が大きくなった

出かせぎの増加

※出題頻度：「内陸部と沿岸部の経済格差が大きくなった○」「出かせぎ△」

[解答 35]① 沿岸 ② 内陸 ③ 格差 ④ 出かせぎ

[進む都市化と環境問題]

[解答 36]① 大気 ② 再生可能

[解説]

経済の成長によって、農村からの出かせぎ労働者などが集まったことで、多くの都市では人口が増加し、都市の周辺では工場や住宅の建設が相次いだ。こうした急速な都市化に環境対策が追いつ

[進む都市化と環境問題]

都市化→大気汚染などの環境問題

再生可能エネルギー(太陽光・風力)の導入

かず、工場や自動車、家庭からの排煙や排気ガスによる大気汚染や、排水による河川、湖の水質汚染など、深刻な環境問題が起こっている。そこで、太陽光や風力などの再生可能エネルギーの導入を進めている(中国の太陽光発電量や風力発電量は世界一である)。

※出題頻度：「都市化△」「大気汚染○」「再生可能エネルギー△」

[解答 37](1) 大気汚染 (2) 再生可能エネルギー (3) 風力発電

【】 韓国など

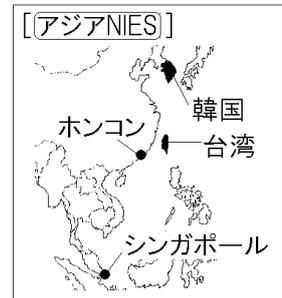
[アジア NIES]

[解答 38] アジア NIES

[解説]

近年急速に工業が発達した国や地域をNIES(新興工業経済地域)という。このうち、アジアにある韓国、台湾、ホンコン、シンガポールを特にアジアNIESと呼んでいる。

※出題頻度：「アジア NIES◎」「韓国、台湾、ホンコン、シンガポール△」



[解答 39](1) アジア NIES (2)A 韓国(大韓民国) B 台湾 C ホンコン D シンガポール

[韓国]

[解答 40]① 重化学 ② ソウル

[解説]

韓国では、原料や燃料を輸入し、加工した製品を輸出する、輸出中心の工業化が図られてきた。1960年代には、せんい製品などの軽工業製品の輸出が中心であったが、1970年代になると、日本などの外国からの資金や技術の援助により、南東部の沿岸地域を中心に、鉄鋼、石油化学、造船、自動車などの重化学工業を発展させた。

しかし、1990年代後半に経済危機が深刻化したことで産業構造が見直され、現在では、ICT産業(ICT関連産業)が主力産業になっている。

首都のソウルとその周辺には、総人口の半分程が暮らしている。国の機関や主要な企業の本社のほとんどがソウルにあり、人口と

政治や経済の一極集中が進んでいる。ソウルと地方の間には

就業の機会や収入などで格差が生じ、ソウルとその周辺では土地や住宅の価格高騰、交通混雑などの都市問題が生じている。

※「軽工業→重化学工業△」「ICT産業△」「首都ソウルへの一極集中△」

[韓国]
1960年代：せんいなど軽工業
1970年代：重化学工業
1990年代：経済危機
↓
産業構造の見直し→ICT産業
首都ソウルへの一極集中



[解答 41](1)A 北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国) B 韓国(大韓民国) C ソウル

(2)① 軽工業 ② 重化学工業 ③ ICT産業 ④ 一極集中 ⑤ 価格上昇

[台湾]

[解答 42](1) アジア NIES (2) ハイテク産業 (3) 安くて豊富な労働力を得るため。

[解説]

台湾は世界的に見ても、コンピューターや半導体などのハイテク産業が盛んな地域である。こうした成長は、アメリカで働いていた人々が台湾にもどり、新しく企業をおこしたことがきっかけであった。台湾には、世界各地の企業から注文を受けて、半導体を生産する大規模な工場が集まっている。また、台湾の企業の中には、安くて豊富な労働力を得るために、中国本土で生産を行う企業も増えてきている。

※出題頻度：この単元はたまに出題される。

【】 東南アジア

[東南アジアにおける宗教の分布]

[解答 43]① 仏教 ② キリスト教 ③ イスラム教

[解説]

仏教はインドから東南アジアの北部に伝わった。ミャンマー、タイ、ベトナム、ラオス、カンボジアなどに仏教徒が多いのはそのためである。

イスラム教は7世紀にアラビア半島でおこり、東西にまたがる広大なイスラム帝国がつけられた。イスラム商人はインド、東南アジア南部、中国にかけて海上貿易を行っており、イスラム教はインド、東南アジア南部(現在のマレーシア、インドネシア)におよんだ。

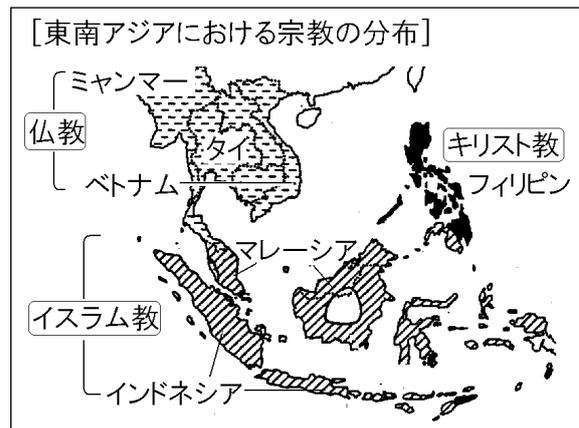
新航路の発見後、16世紀ごろ、スペインやポルトガルはアジアへ進出した。こうしたなかで、フィリピンはスペインの植民地となった。スペインはキリスト教布教を植民地支配の手段として活用したため、フィリピンではキリスト教が広まった。

※出題頻度：「仏教(タイ・ベトナムなど)○」「イスラム教(インドネシア、マレーシア)○」「キリスト教(フィリピン○)」「スペイン△」

[解答 44]① 仏 ② イスラム ③ スペイン ④ キリスト

[解答 45]A 仏教 B イスラム教 C キリスト教

[解答 46]かつてスペインの植民地だったから。



[ASEAN]

[解答 47]ASEAN

[解説]

1967 年に結成された東南アジア諸国連合(ASEAN)では、輸入品にかける関税をお互いに無くすなど、加盟国間の貿易や人の交流をさらに活発にしようとしている。現在、東南アジアのほとんどの国が ASEAN に加盟している。

ASEAN
東南アジア諸国連合

※出題頻度：「ASEAN(東南アジア諸国連合)◎」

[解答 48](1)① ASEAN ② 東南アジア諸国連合 (2) 関税

[東南アジアの稲作]

[解答 49]① 季節 ② 二期

[解説]

東南アジアは、モンスーン(季節風)の影響で降水量が多いため、大河の流域を中心に稲作が盛んである。1年を通じて気温が高く、降水量も多いために、年に2回収穫する二期作ができる地域もある。

[東南アジアの稲作]
1年を通じて気温が高く、
季節風の影響で降水量が多い
→米の二期作
かんがい設備の整備→増産

以前は農作業に牛や馬を使っていたが、作業の機械化や

かんがい施設の整備、品種の改良によって、米の生産量は大幅に増加した。

※出題頻度：「米の二期作◎」「1年を通じて気温が高く、モンスーンの影響で降水量も多いから△」「かんがい設備△」

[解答 50](1) 米 (2) 二期作 (3) 1年を通じて気温が高く、季節風の影響で降水量も多いから。 (4) かんがい設備

[米の生産・輸出]

[解答 51]タイ

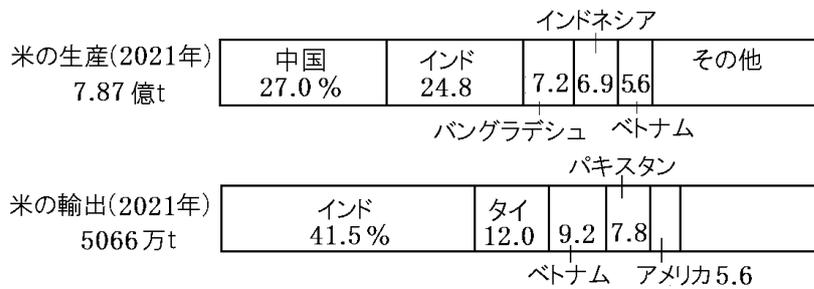
[解説]

米の生産が多いのは中国とインドである。しかし、中国は人口が多いため国内の消費も多く、生産した米のほとんどを国内で消費するため、米の輸入量が輸出量よりも多い。

[米の生産・輸出]
生産量：1位中国, 2位インド
輸出量：1位インド, 2位タイ

米の輸出は、インドが1位で、2位がタイである。

(統計出典)「日本国勢図会 2023/2024」P143, 144



※出題頻度：「米の輸出世界 1 位はインド，2 位はタイ○」

[解答 52]A インド B タイ

[プランテーションなど]

[解答 53]プランテーション

[解説]

東南アジアでは、植民地時代に、天然ゴムなどの輸出用の農作物を大規模に栽培する大農園(プランテーション)が造られた(第二次世界大戦後、プランテーションは現地の人々によって経営されるようになった)。マレーシアとインドネシアでは、あぶらやし(マーガリン等を作るためのパーム油の原料)の農園にするために大規模な開発が進み、熱帯林(熱帯雨林)の減少も起こっている。

[プランテーション]

植民地時代に開かれた大農園

あぶらやし：マレーシアとインドネシア

バナナ：フィリピン

コーヒー：ベトナム

えびの養殖：マングローブの海岸

フィリピンではバナナの生産がさかんで、ベトナムではコーヒーの生産が伸びている。タイやインドネシアなどのマングローブが広がる海岸では、日本に輸出するためにえびの養殖場がつくられている。

※出題頻度：「プランテーション◎」「植民地時代△」「あぶらやし(マレーシア・インドネシア)△」「バナナ(フィリピン)△」「コーヒー(ベトナム)△」「えび(マングローブの海岸)△」

[解答 54](1)① 植民地 ② プランテーション (2) 米

[解答 55]① 植民 ② プランテーション ③ あぶらやし ④ バナナ ⑤ コーヒー
⑥ えび ⑦ 熱帯雨(熱帯)

[外国企業の進出と工業化]

[解答 56]安い

[解説]

近年、東南アジアや中国などに、日本企業などの外国企業が進出した。これは、日本と比べて労働者の賃金をはるかに安いためである。家電製品、自動車、冷凍食品などをつくる日本企業が、アジアの国々に工場を建設して日本向けの製品を生産している。

[東南アジアへの外国企業の進出]

労働者の賃金が安い

タイやマレーシア

工業団地をつくって外国企業を誘致

さらに、アジア各国で経済が発展すると、これらの国々向けの製品を生産するために、日本から進出する企業も増えている。タイやマレーシアなどの国は、工業団地をつくって外国の企業を積極的に受け入れる政策をとっている。最近では、人件費の上昇などが原因で中国から撤退し、かわりに、東南アジアへ進出する日本企業が増えている。

※出題頻度：「労働者の賃金が安い」ため◎」「工業団地」○

[解答 57](1) 日本と比べて労働者の賃金が安い。 (2) 工業団地
(統計修正)「世界国勢図会 2023/2024」 P103

[解答 58]タイ：イ ベトナム：エ

[解説]

2000年より以前から、タイ、マレーシア、インドネシアには多くの日本企業が進出していた。特に、タイへの進出企業数が最も多い。近年では、より賃金の安いベトナムやミャンマーに進出する企業が増えている。東南アジアの国で人口が1億人を超えているのは、インドネシア(約2.7億人)とフィリピン(約1.2億人)で、ベトナム(0.96億人)がこれに次いでいる。タイは約7千万人、マレーシアは約3千万人である。

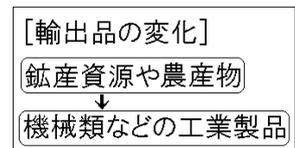
以上より、アはマレーシア、イはタイ、ウはインドネシア、エはベトナムとわかる。

[輸出品の変化]

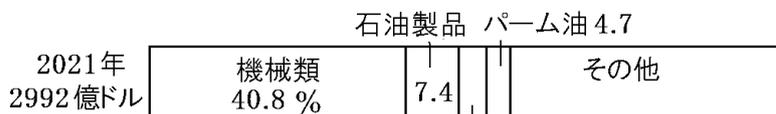
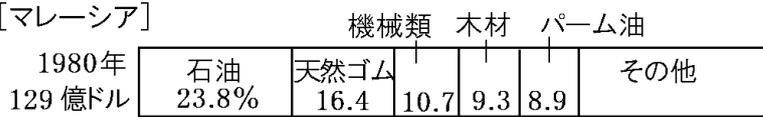
[解答 59]① 農産物 ② 鉱産資源 ③ 工業製品

[解説]

次のグラフからもわかるように、かつて、マレーシアやタイなどの輸出の中心は、鉱産資源(石油、すずなど)や農産物(天然ゴム、米など)が中心であった。しかし、工業化が進み、現在では、機械類などの工業製品が輸出の中心になった。



[マレーシア]



[タイ]



(統計出典)「世界国勢図会 2023/2024」P310, 312

※出題頻度：「鉱産資源や農産物→機械類などの工業製品○」

[解答 60]輸出総額が大幅に増えた。かつては農産物や鉱産資源が輸出の中心であったが、現在では、機械類などの工業製品が輸出の中心になった。

[急速な都市化と課題]

[解答 61]スラム

[解説]

東南アジアでは、工業化^{こうぎょうか}によって経済が成長すると、都市部の人々の収入は増え、生活水準が向上した。一方で、農村で暮らす人々との収入の格差^{かくさ}は広がった。農作業の機械化^{かきか}によって労働力が余^{あま}ってくると、仕事や高い収入を求めて、人々が農村から都市へ出ていき、1960年代か

[農村の変化と急速な都市化]
農業の機械化が進んで人手が余る
↓
若者が農村から都市へ
↓
都市問題(スラム),交通渋滞など

ら都市の人口が急速に増えた。都市では、スラムとよばれる生活環境^{かんきやう}の悪い住宅地ができた。交通量が増えて日常的に渋滞^{じゅうたい}が激しくなったりする都市問題が起こっている。

※出題頻度：「スラム○」「農業の機械化が進み、農村で人手が余るようになったから△」

[解答 62]エ

[解答 63]農業の機械化が進み、農村で人手が余るようになったから。

[解答 64]生活環境が悪いスラムが広がる地域がある。(激しい交通渋滞が発生している。)

【】南アジア(インド)

[宗教]

[解答 65]① ヒンドゥー ② カースト

[解説]

南アジアでは、ヒンドゥー教徒^{きんどうと}が多く、インドでは約80%をしめている。ヒンドゥー教徒は、牛を神の使いと考え牛肉を食べない。また、ガンジス川^{せい}は聖なる川とされ、人々が水に身をひたして沐浴^{もくよく}(体を清め罪を流し去ること)を行う。ヒンドゥー教はカースト

[南アジアの宗教]
インド：ヒンドゥー教, カースト制度
パキスタンとバングラデシュ：イスラム教
スリランカ：仏教

ト制度といわれる身分制度とつながりが深い。パキスタンやバングラデシュではイスラム教徒が、スリランカでは仏教徒^{ぶつぎやうと}が多く見られる。地域によって異なる多くの言語が使われているが、共通言語になっている英語を話す人も多い。

※出題頻度：「ヒンドゥー教○」「カースト制度△」「パキスタンとバングラデシュはイスラム教△」「スリランカは仏教△」

[解答 66]イ

[解説]

イはイスラム教徒の生活のようすである。

[解答 67](1) ヒンドゥー教 (2) カースト制度 (3) ガンジス川 (4) イスラム教 (5) 仏教

[中国とインドの人口予測]

[解答 68]A 中国 B インド

[解説]

ひとりっこせいさく
一人っ子政策をとったために、中国の人口増加率が低下しているのに対し、インドは出生率が高い状態が続いている。2010年時点では、中国が13.4億人でインドが12.3億人であったが、2022年には、中国が14.3億人でインドが14.2億人とほぼ同数になった。今後、インドの人口が中国の人口を上回るようになると予想されている。

[中国とインドの人口予測]

中国:一人っ子政策→人口増加率が低下

インド:人口増加率が高い

↓
やがて、インドの人口が中国を上回る

(統計修正)「日本国勢図会 2023/2024」P16

※出題頻度：この単元はしばしば出題される。

[解答 69](1)A 中国 B インド (2)① 一人っ子 ② 低下

[解説]

(1) 世界で人口が10億を超えるのは、中国(14.3億人)とインド(14.2億人)しかない。

[解答 70]一人っ子政策をとってきた中国の人口増加率が低下しているのに対し、インドは出生率が高く人口増加率も高いため。

[インドの農業]

[解答 71]① 小麦 ② 綿花

[解説]

インドの農業の中心はヒンドスタン平野である。

ねんこうすいりょう
年降水量が1000mm以上のガンジス川下流域では米が栽培されている。降水量が500mm以上1000mm以下のガンジス川上流地域やインダス川流域では、乾燥した気候に適した小麦の栽培が行われている。また、輸出用の作物の栽培もさかんで、降水量の多いアッサム地方やスリランカの高地では茶、乾燥した北西部やデカン高原では綿花が生産され、世界各地に輸出されている。



南アジアでは、人口増加による食料不足が心配されたので、作物の品種改良^{ひんしゅかいりょう}や化学肥料^{かがくひりょう}の普及^{ふきゅう}などが進められてきた。その結果、インドやパキスタンでは、米や小麦の生産量が大幅に増えた。

※出題頻度：「綿花(デカン高原)△」「米(ガンジス川下流)△」「小麦(ガンジス川上流)△」「茶(アッサム地方、スリランカ)△」

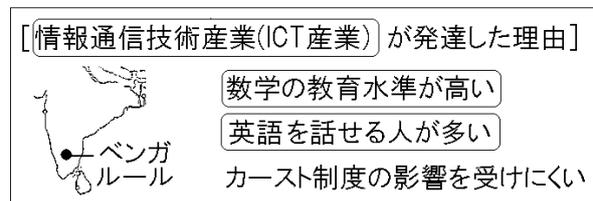
[解答 72](1)A ガンジス川 B ヒンドスタン平野 (2) 米 (3) 小麦 (4)●：綿花 ▲：茶

[インドの情報通信技術産業]

[解答 73]英語

[解説]

インドでは、ベンガルールを中心に情報通信技術関連産業(ICT関連産業)(情報通信技術産業(ICT産業))がさかんである。中でもソフトウェア産業の伸びが著しい。インドはもともと数学の教育水準



が高く、英語が話せる人も多い(かつてイギリスの植民地であったから)。当初はアメリカのシリコンバレーなどへインドの技術者が渡り、ソフトウェアの開発にたずさわっていたが、現在は国内での開発が中心になっている。

ICT関連産業(ICT産業)は新しい産業であるため、身分と職業を制約するカースト制度の影響^{えいきょう}を受けにくい^{えい}ため、人々に広く受け入れられたという側面がある。

※教科書によって、「情報通信技術産業(ICT 産業)」と表現している教科書と、「情報通信技術関連産業(ICT 関連産業)」と表現している教科書がある。

※出題頻度：「情報通信技術関連産業(ICT 関連産業)○」「英語や数学○」「カースト制度の影響を受けにくい△」「ベンガルール△」

[解答 74]エ

[解説]

エが誤り。「アメリカと約半日の時差があるため、仕事を効率的に分担できるから。」が正しい。

[解答 75]① ICT(情報通信技術) ② 数学 ③ 英 ④ 低 ⑤ カースト

[解答 76](1) ICT 関連産業(ICT 産業) (2) ベンガルール (3) シリコンバレー

(4) インドはもともと数学の教育に力を入れており、英語を話せる人が多いから。

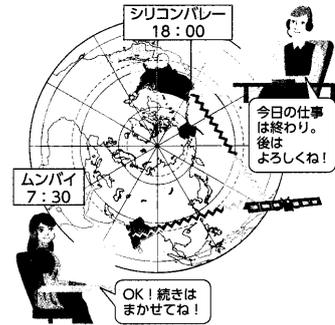
[アメリカとの時差]

[解答 77]① ベンガルール ② 英語 ③ 時差

[解説]

インドは、ICT産業が世界で最も発達しているアメリカ合衆国と、約半日の時差があるため昼と夜が反対になる。この利点を生かし、アメリカ合衆国が夜の間に、コールセンター(電話対応)業務やソフトウェアの開発などの仕事をアメリカ合衆国の企業から請け

[コールセンターなど]
アメリカと約半日の時差
英語を話せる人が多い。
↓
コールセンター業務やソフトウェアの開発を夜間にインドで行う。



負うことで、インドのICT関連産業は大きく成長した。アメリカでの夜の時間帯に、アメリカの企業A社への電話をインドのコールセンターB社につなぐことで、アメリカの企業A社は24時間対応できるようになる。

※出題頻度：「約半日の時差○」「英語を話せる人が多い○」「ソフトウェアの開発△」「コールセンター(電話対応)業務△」

[解答 78]インドでは英語を話せる人が多いことと、インドとアメリカでは約半日の時差があること。

[解答 79]約半日の時差を利用し、アメリカが夜の間にインドで仕事を進められるから。

【】西アジア・中央アジア

[西アジアの宗教など]

[解答 80]イスラム

[解説]

西アジアには、アラビア語を使うアラブ系の人々が生活する国が多く、人口のほとんどがイスラム教の信者である。イスラム教徒は、教典の「コーラン」に従って日常生活を送っており、1日5回、聖地であるメッカの方角へ向けて礼拝する。また、豚肉を食べたり、酒を飲んだりすることは禁じられている。イスラム暦の9月に行われる断食や、メッカへの巡礼などは、イスラム教徒の義務とされている。

[西アジアの宗教など]
アラブ系:アラビア語
イスラム教:教典は「コーラン」
1日5回、聖地のメッカに向けて礼拝
豚肉や酒は禁止、9月の断食



※出題頻度：「西アジア△」「イスラム教○」「コーラン△」「メッカ△」

「豚肉や酒の禁止△」「アラビア語△」

[解答 81](1) 西アジア (2) イスラム教 (3)① コーラン ②ア 豚肉 イ酒 ③ メッカ
(4) アラビア語

[ペルシャ湾沿岸の石油]

[解答 82]① ペルシャ ② OPEC

[解説]

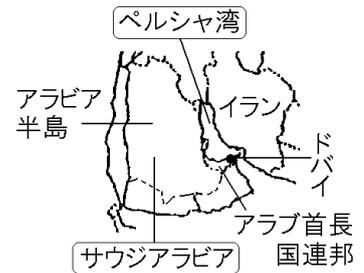
世界の石油埋蔵量の約半分は、ペルシャ湾沿岸を中心とする一帯に集中している。また、石油の生産量・輸出量ともにペルシャ湾沿岸の産油国が大きな割合を占めている。日本の石油輸入の約 8 割はペルシャ湾沿岸の国々からで、その中でも多いのが、サウジアラビアとアラブ首長国連邦である。アラブ首長国連邦のドバイには世界一高いビルがあり、リゾート地としても有名である。

西アジアの産油国は、石油の価格や生産量を調整し、産油国の利益を守るため、1960年にOPEC(石油輸出国機構)を内陸で産出される石油を港まで運ぶためにパイプラインが利用され、港からはタンカーで輸送される。

西アジアでは、資源をめぐる利害対立や部族紛争などの内戦で、周辺に避難してくる人々がいる。この人々を難民という。

※出題頻度：「ペルシャ湾○」「石油◎」「サウジアラビア○」「アラブ首長国連邦△」「ドバイ△」「OPEC(石油輸出国機構)◎」「パイプライン△」「難民△」

[ペルシャ湾] 沿岸の [石油]
パイプラインやタンカーで輸送
日本の石油輸入国
1位: [サウジアラビア]
2位: アラブ首長国連邦
(ドバイ:リゾート地)
[OPEC](石油輸出国機構)



[解答 83](1) ペルシャ湾 (2) 石油 (3) サウジアラビア (4) OPEC(石油輸出国機構)

[解答 84](1) 石油 (2)① OPEC ② 石油輸出国機構 (3)A サウジアラビア B イラン C アラブ首長国連邦 (4) A (5) アラビア半島 (6) パイプライン (7) ドバイ (8) 難民

[中央アジア]

[解答 85]① レアメタル ② シルクロード

[解説]

中央アジアの大部分は乾燥帯に属し、人々の多くはイスラム教徒である。中央アジアの国々は、ソ連に属していたが、1991年のソ連の解体で独立した。中央アジアは、石炭や石油、天然ガス、レアメタル(希少金属)などの鉱産資源が豊富である。また、歴史的にシルクロード(絹の道)の交易で栄えた都市の遺跡などには、多くの観光客が訪れる。

※出題頻度：「レアメタル(希少金属)◎」「シルクロード○」

[中央アジア]
希少金属([レアメタル])
[シルクロード](歴史遺産)

[解答 86](1) レアメタル (2) シルクロード(絹の道) (3) イスラム教 (4) ソ連 (5) 乾燥帯

【】 アジア全般

[解答 87]①A 黄河 B 長江 C ヒマラヤ D チベット E インダス F インド
G アラビア H ペルシャ I 季節 J a K 雨 L 乾 ②A 東アジア B 東南アジア
C 南アジア D 西アジア E 中央アジア F 韓国(大韓民国) G 中国(中華人民共和国)
H インド I サウジアラビア J 6 K イスラム L ヒンドゥー M 仏 N イスラム
O キリスト ③A ペキン B 漢(漢民) C 少数 D 華 E 一人っ子 F ウ G イ
H ア I 経済特 J 沿海部 K 工場 L 大気 ④A ICT B ソウル C NIES
D ASEAN E 二期作 F タイ G プランテーション H 賃金(人件費) I 工業 J 工業
K スラム ⑤A ヒンドゥー B 小麦 C 米 D 綿花 E 英語 F ベンガルール G ICT
H 時差 ⑥A イスラム B ペルシャ C 石油 D サウジアラビア E OPEC
F レアメタル G シルクロード

[解答 88](1)A 黄河 B 長江 C メコン川 D インダス川 E ヒマラヤ山脈
F チベット高原 G デカン高原 H インドシナ半島 I アラビア半島 J インド洋
K ペルシャ湾 (2) ウ (3)①季節風(モンスーン) ② Y ③a 雨季 b 乾季 ④ Y
(4)A シンガポール B コルカタ C シャンハイ D ウランバートル

[解答 89](1)A モンゴル B 韓国(大韓民国) C 中国(中華人民共和国) D フィリピン
E インドネシア F マレーシア G シンガポール H ベトナム I タイ J インド
K サウジアラビア (2)a 東アジア b 東南アジア c 南アジア d 西アジア
e 中央アジア (3) 約 6 割 (4)① 仏教 ② ヒンドゥー教 ③ イスラム教 ④ キリスト教

[解答 90](1) 漢族(漢民族) (2) 華人 (3) 一人っ子政策 (4) 少子高齢化 (5)① A ② C
③ B (6) 経済特区 (7) 工業が発達した沿岸部と、工業化がおくれた内陸部の経済格差が
拡大したこと。 (8) 世界の工場 (9) 大気汚染 (10) アジア NIES (11)① ICT
② ソウル ③ 集中

[解答 91](1)① キリスト教 ② イスラム教 ③ 仏教 (2) ASEAN (3)① 二期作 ② タイ
③ プランテーション ④ えび ⑤ バナナ (4) 労働者の賃金が安いから。 (5) 工業団地
(6) 機械 (7) スラム

[解答 92](1)a 中国 b インド (2) ヒンドゥー教 (3) カースト制度 (4)A 米 B 小麦
C 茶 D 綿花 (5) ICT (6) ベンガルール (7) 数学, 英語
(8) インドでは英語を話せる人が多いことと、インドとアメリカでは約 12 時間の時差がある
こと。

[解答 93](1) イスラム教 (2) ペルシャ湾 (3) 石油 (4) サウジアラビア (5) OPEC
(6) レアメタル (7) シルクロード